

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 12 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	面倒を見てあげているという意識をなくし先輩として本人を尊敬し共に生きているという実感を感じながら仕事に取り組んで欲しい。	本人のこれまでの人生をよりよく知り、尊敬の念を持てる様に指導する。同時に仕事であるという意識、責任感を持つよう指導し、責任の生じる役割を持たせる。	12ヶ月
2	16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係作りに努めている。	お互いに信頼できる関係を築いていく。	家族との関係性がいかに大切であるかを勉強させ、挨拶や声かけを全員が行なう。	12ヶ月
3	21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるような支援に努めている。	利用者スタッフの関係だけではなく、利用者同士の良い関係を構築できるよう支援したい。	認知症の方どうしを同席させるとトラブルの元という観念を払拭し、積極的に利用者様同士を近づけていく。	6ヶ月
4	51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	施設で暮らしながら、家族のこと、故郷のこともしっかり思い出しながら、生きていく支援をする。	本人と家族との関係を密にすると帰宅願望が大きくなると考えず、帰宅願望は本来良い残存能力であるということを理解し、家族との交流を増やす。	4ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。